

3-4 その他

3-4-1 分子研コロキウム

分子研コロキウムは、所長はもとより、所内全ての教授、准教授、研究者が集い、各人の専門分野を越えて学問的な刺激を享受することを趣旨とし、各々の専門分野で講師をお招きして開催する部門公開セミナーとは一線を画す。今年度 955 回を数える歴史あるセミナーであるが、コロキウムに参加する所員は、年々、減少する一途にあり、コロキウム本来の趣旨が所員に正しく理解されているかは疑わしい状況にある。1988 年「総合研究大学院大学」の設立、2003 年「国立大学法人法」の制定にともない、所長、教授、准教授が、研究所・大学院の運営により多くの時間を割かざるを得なくなるなど、コロキウムが始まった 1976 年当時と現在とでは研究所を取り巻く状況が大きく異なってきた事実はあるが、コロキウム本来の趣旨に立ち返り、その存在意義を高めるべく、2010 年度からコロキウムの改革が進められている。

2021 年度は昨年に引き続き、(i) 領域推薦枠の導入、(ii) 4 月から 3 月までの通年開催、の 2 つの開催要領を検討した。前者は、お招きする講師の選出に複数の教員が関わることでコロキウムへの関心を高めることが主な目的であり、後者は、コロキウムの開催が年末から年度末にかけて集中してしまうここ数年の傾向を考慮しての対策である。これらの開催方針は次年度にも引き継がれることとなった。

昨年度に、コロナ禍における新しいコロキウムの開催方法として、オンラインによる開催、あるいはオンラインとオンサイトを併用したハイブリッド開催が整備された。今年度も、時々刻々と状況が変化する新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況に応じて、コロキウムをオンライン開催あるいはオンライン・オンサイトのハイブリッド開催とするよう柔軟に対応した。また、新型コロナウイルス感染症が流行する以前は、研究者間の交流を目的とするワイン会や懇親会が例年行われてきたが、本年度はこれらを開催せず、代わりにコロキウム後に意見交換会を設けるなどの代替案を採用した。

本年度に開催されたコロキウムはすべてオンライン上で所外公開された。所外公開に伴い参加者は大幅に増え、100 人以上の参加登録があるなど非常に盛況であった。議論も活発であり、オンライン化の良い面を認識することができた。一方で、所外公開のオンラインのコロキウムでは、専門性の高い議論が活発におこなわれる反面、専門外の研究者や学生からの質問がし難いという意見もあり、運営方法はその都度改善していくことが必要になるであろう。これは本コロキウムに限らずオンラインで開催される講演会・研究会全般にあてはまる検討事項であろう。コロナウイルス対策がきっかけであったが、オンラインでの所外発信という新しい選択肢ができたことで、コロキウムが講演者と所内外の研究者を広く巻き込んだ「ブレーンストーミング」の場となることを期待したい。

以下に、2021 年度に行われた分子研コロキウム一覧を示す。

回	開催日	テーマ	講演者	参加人数
950	2021. 5. 6 (オンライン)	Organic Light Emitting Diode—A review	Prof. Ching Wan Tang (The Hong Kong University of Science and Technology)	67
951	2021. 5.20 (オンライン)	Singlet Fission for Photovoltaics: Search for New Materials	Prof. Josef Michl (University of Colorado Boulder)	75
952	2021. 7. 9 (オンライン)	キラリティが結ぶ弾性・磁気・電気・光 の物理 Chirality-Induced Dynamics of Phonon, Spin and Photon	岸根順一郎 (放送大学教授)	101

953	2021. 8.17 (オンライン)	ファンデルワールス積層による原子層の 自在配列と量子輸送現象 Quantum Transport in van der Waals Junctions of Atomic Layers	町田友樹 (東京大学生産技術研究所教授)	46
954	2021.12. 9 (オンライン・ オンサイト併用)	非平面 π 共役分子がもたらす特異な光物性 Non-Planar π -Conjugated Molecules Featuring Unique Photophysical Properties	宮島大吾 (理化学研究所創発物性科学 研究センターユニットリー ダー)	49
955	2022. 1.18 (オンライン)	特異な電子構造と安定性をあわせもつ新奇 π 電子系の創成 Exploring Novel π -Electron Systems toward Unusual Yet Stable Functional Materials	深澤愛子 (京都大学高等研究院物質－ 細胞統合システム拠点 (iCeMS) 教授)	94